

お札に登場した 人物、動物

お札に肖像として描かれた人

+2000

日 本銀行券では現行紙幣を含めて16名、政府紙幣(注)では2名が登場しており、具体的には右のとおりです。

ち なみに日本銀行券の表面に女性の肖像が採用されたのは、現行の五千円券の樋口一葉が初めてです。なお、政府紙幣まで含めると、右表のとおり「神功皇后像」が使われたことがあります。これは、1881年(明治14年)～1883年(同16年)に政府紙幣である「明治通宝」の偽造対策として発行された改造紙幣で、一円券、五円券および十円券の3種類がありました。

	人物名
日本銀行券	(戦前) 菅原道真、和気清麻呂、武内宿禰、 藤原鎌足、聖徳太子、日本武尊
	(戦後) 二宮尊徳、岩倉具視、高橋是清、 板垣退助、聖徳太子、伊藤博文、 福沢諭吉、新渡戸稲造、夏目漱石、 樋口一葉、野口英世
政府紙幣	神功皇后、板垣退助



改造十円券

(注) 政府紙幣とは、1868年(明治元年)から1872年(同5年)にかけて政府が発行した紙幣で、太政官札、大蔵省兌換証券、開拓使兌換証券、明治通宝などがあり、1878年(同11年)に明治通宝に統一された。なお、1872年(同5年)には「国立銀行条例」が制定され、1873年(同6年)以降は「国立銀行券」も発行された。

お札に肖像が利用される理由は？

大 きな理由としては、2つ挙げることができます。

第 1は偽造防止のためです。私たちは人の顔を見分けることに慣れているため、銀行券の肖像がほんの少しでもずれたりぼやけたりしていると違和感を持ち、偽造防止に繋がります。第2は人々に親近感を持ってもらうためです。その国で良く知られている政治家、文化人、有名人などを描き、その人物の業績などを再認識して親近感を持ってもらうとともに、銀行券自体についても認識を深めてもらう狙いがあります。

肖像の人物選定に

基準はあるのでしょうか？

お 札に使用される肖像の人物選定に明確な基準があるわけではありませんが、注意が払われている点はいくつかあります。例えば、①極力実在の人物で、業績があり知名度も高く親しみやすいなど、国民から尊敬され日本を代表するような人物であること、②偽造防止の観点から、簡単に複製できず、かつ人の目を引く特徴のある顔であることなどです。

物にはどのような人がいますか？

— 日本のお札の肖像あれこれ —

眼鏡をかけている人、^{ひげ}髭のない人

まず、眼鏡をかけているのは、新渡戸稲造（D五千円券）、日本銀行総裁も務めた高橋是清（B五十円券）だけです。また、肖像に使われた人物の多くは髭があり、髭のない人物には、福沢諭吉（DおよびE一万円券）、二宮尊徳（A一円券）と岩倉具視（BおよびC五百円券）、そして女性であるE五千円券の樋口一葉がいます。



D五千円券



B五十円券



D一万円券



A一円券



B五百円券

肖像の位置は右側と決まっているのですか？

日本銀行券の肖像はこれまで券表面の右側に描かれるのが殆どでしたが、C五千円券の肖像は、券表面の中央に描かれています。これは、肖像にC一万円券と同じ聖徳太子が採用されたためです。銀行券の大きさは違いますが（C五千円券の方が縦4mm、横5mm小さい）、同じような色調で同じような肖像を用いたC五千円券とC一万円券との区別を容易にするための工夫だったのです。

また、一度だけ左側に描かれたこともあります。それは、1915年（大正4年）に発行された「乙十円券」で、肖像には和氣清麻呂が使われています。もっとも、銀行などでお札を勘定する際には、従来より左手でお札を持ち肖像と向き合うようにして数えるのが一般的であるため、このお札が発行された当時、「十円札だけ肖像が確認しにくく不便」との声が寄せられました。それ以降、肖像が表面左側にレイアウトされることはなくなったそうです。



C五千円券



C一万円券



乙十円券